

肥後銀行企業年金基金による国連責任投資原則（PRI）への署名について

肥後銀行企業年金基金は、2006年に国連により提唱された「責任投資原則(PRI)」(以下、PRIといいます。)の考え方に賛同し、2021年9月13日に署名しました。

当基金では年金資産の運用にあたり、企業の財務情報に加え、環境、社会、ガバナンスにかかる課題への対応を含む非財務情報についても把握・分析し、中長期的視点から企業の価値向上や持続的成長を後押ししてまいります。

当基金は、企業年金基金としてのスチュワードシップ責任をより一層果たすとともに、PRI署名によりESG課題への取り組み姿勢を明確にし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■国連責任投資原則（Principles for Responsible Investment）について

2006年に国連が提唱した国際的なイニシアチブで、機関投資家に対し、E（Environment：環境）、S（Society：社会）、G（Governance：ガバナンス）の課題を投資の意思決定に取り込むことで、長期的な投資パフォーマンスを向上させ、受託者責任を果たすことを目指しています。

■PRIの6原則

1. 私たちは、投資分析と意志決定のプロセスにESGの課題を組み込みます。
2. 私たちは、活動的な所有者になり、その所有方針と所有慣習にESG問題を組み入れます。
3. 私たちは、投資対象の主体に対してESGの課題について適切な開示を求めます。
4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。
5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

以 上